



青翔中学校通信

(5月9日号 Vol.1)

青翔中学校の春の校外学習について生徒がレポートします！

学び多き初めての校外学習(中一)

僕たちの学年では、4月27日に津風三湖・津風呂ダムと、万葉文化館への校外学習がありました。

入学後、少しずつ私たちは大きくなってきて、あまり話せていないクラスメイトも多いので、バスの座席やグループでの見学は、少し不安に思っていました。でも、グループやバスの中では会話がはずみ、新しい友だちも増やせたので、とても良かったです。一さて、そんな僕の心に残ったことは二つあります。一つ目は、津風呂ダム管理施設の見学です。どれも興味深い装置ばかりで、津風呂ダムのグラフを見せてもらったり、僕は僕の班では質問が飛び交っていました。どの質問に対する答えも、根拠は、きりとしていたので、僕も参考にしたいと思いました。

そして、二つ目は、万葉文化館の地下展示室です。音声が鳴るリアルな模型が印象的でしたが、僕の学年で人気だったのは、万葉文化クイズのコーナーです。全問正解をとりに来て、何度も取り組んでいく生徒もいました。ちなみに僕もわ、たので、それが難しく、あまり正解できませんでしたが、また万葉文化について学んでから、再チャレンジしてみたいです。

校外学習を通じて色々なことを学べました。いろんな人が身についたと思います。

中2最初の校外学習は、シャープミュージアムとなら芸術文化村でした。シャープミュージアムではIoTが生活をよりよくすること、なら芸術文化村では文化財を継承することの大切さについて学びました。午前と午後でテーマが真逆だったので、どちらも新鮮な気持ちで学ぶことができました。

今回の校外学習で、IoTなどの先端技術を駆使して日本独自の文化を世界に発信していくべきだと思いました。最近では外国の文化を取り入れてばかりですが、こんなに素敵なおもしろい日本の文化を世界に発信しない訳にはいきません。日本独自の文化を残しつつ、外国の文化と融合するのが一番ベストではないでしょうか。私も日本の素敵な文化の発信に一翼を担えるようになりたいと考えています。

最先端科学と奈良の伝統文化(中二)

私は先日、「なごまち」の観光と「冒険の森」というアスレチック場へ校外学習として行きました。

その日の数日前までは「実質遠足だ」と喜んでいましたが、雨予報だと耳にしたので不安になりながらも当日を迎えました。しかし、その心配は要らないとすぐに気がつかれました。

まずはなごまちの観光です。昔ながらの街並みがある中、楽しみ方は様々です。文化財を見て回る者、近くの売店で友達と楽しいひと時を過ごす者などです。ちなみに私はひたすら歩きました。マップを片手に友達との会話で場が明るくなりました。これが班行動の醍醐味だと思います。

アスレチックに絡ります。滑車を利用してPointからPointへ渡るものです。高さが十メートル以上ある上で線一本を歩くのはさすがに足が踏みませんでした。得意な人も苦手な人もいましたが、誰にとっても緊張すると同時に楽しい瞬間だ、たことでした。ちなみに私は後日少し筋肉痛になりました。

このようにまる一日私は、雨のことを忘れて、先生や友達と有意義な時間を過ごしました。皆さんも友達という存在を大事にして、今の生活を満喫しましょう。

クラスメイトとの「絆」深める(中三)

私は先日、「なごまち」の観光と「冒険の森」というアスレチック場へ校外学習として行きました。

その日の数日前までは「実質遠足だ」と喜んでいましたが、雨予報だと耳にしたので不安になりながらも当日を迎えました。しかし、その心配は要らないとすぐに気がつかれました。

まずはなごまちの観光です。昔ながらの街並みがある中、楽しみ方は様々です。文化財を見て回る者、近くの売店で友達と楽しいひと時を過ごす者などです。ちなみに私はひたすら歩きました。マップを片手に友達との会話で場が明るくなりました。これが班行動の醍醐味だと思います。

アスレチックに絡ります。滑車を利用してPointからPointへ渡るものです。高さが十メートル以上ある上で線一本を歩くのはさすがに足が踏みませんでした。得意な人も苦手な人もいましたが、誰にとっても緊張すると同時に楽しい瞬間だ、たことでした。ちなみに私は後日少し筋肉痛になりました。

このようにまる一日私は、雨のことを忘れて、先生や友達と有意義な時間を過ごしました。皆さんも友達という存在を大事にして、今の生活を満喫しましょう。